

グローバル・ビジネス・パーソン・プロフィール

1. 心のエネルギーの傾向

- ▶ 自分を信じている。
- ▶ 何事に対しても好奇心がある。
- ▶ 物事にこだわりがない。
- ▶ 私利私欲を超え、本質を求める。
- ▶ 他人の所為にしない。

2. コミュニケーションでの傾向

- ▶ 形式ばらずに、友好的な接し方をする。
- ▶ 人の話を聴き、理解を深めるために、質問や確認をする。
- ▶ 自分の考えを伝えようとする意欲がある。
- ▶ 言葉による意思伝達を心がける。
- ▶ 話のポイントが明確で、筋道立てた話し方をする。

3. 対立・葛藤状況での傾向

- ▶ 考えの違いを瞬時に明確にすることができる。
- ▶ 「人」と「事」を意識して切り離すことができる。
- ▶ 対立する意見の違いを抑え込まない。
- ▶ 意識的に落ち着いた調子でゆっくり話す。
- ▶ 相手の感情を害することなく、自己主張ができる。

4. 問題解決での傾向

- ▶ 否定的なことや問題点をオープンにする。
- ▶ 問題解決の方法を他人と共有する。
- ▶ 解決策を立てる上で、多くの要素を考慮する。
- ▶ 慣例的な解決の仕方にこだわらない。
- ▶ 複雑な問題でも粘り強く取り組む。

5. 意思決定での傾向

- ▶ リスクを伴うことに対しては、客観的な情報に基づき注意深い。
- ▶ 長短期的な影響をバランス良く考慮する。
- ▶ 意思決定の過程で、関係者と相談する。
- ▶ 意思決定の責任の所在を明確にする。
- ▶ 意思決定を先送りしない。

6. 異文化対応での傾向

- ▶ 様々な価値観の違いを尊重し、そのコア・バリュに理解を示す。
- ▶ 自分・自文化のコア・バリュを自覚し、説明できる。
- ▶ 出来事をよく見て、性急に判断しない。
- ▶ 相手に応じて、行動スタイルをスイッチできる。
- ▶ 相手にもスタイル・スイッチを促すことができる。

7. グローバル態度の傾向

- ▶ “What if” を常に意識し、大局的にものを観ようとする。
- ▶ 現状に甘ずることなく、リスクを辞さない。
- ▶ 環境の変化に耐えられる精神的タフさと柔軟さがある。
- ▶ アカウンタビリティ(結果説明責任)がある。
- ▶ 国際情勢に興味と関心を示す。

8. 人の指導・育成面での傾向

- ▶ 達成すべきスキルを明確にし、必要なトレーニングを与える。
- ▶ 相手が正しく理解しているか、質問と確認をその都度行う。
- ▶ 肯定的な面を強調し、言葉で励ます。
- ▶ 相手の行動修正を事実に基づいて指摘する。
- ▶ 言うべきことは、曖昧にせず言う。

9. 権限委譲での傾向

- ▶ 自分およびチームの成員の職務を分析できる。
- ▶ 委任業務の内容を明確にし、具体的に説明できる。
- ▶ 委任業務の期待(目標)基準を明確にし、説明できる。
- ▶ 相手の能力や成熟度に応じた業務の出し方をする。
- ▶ 委任業務の進捗を定期的に確認し、援助する。

10. リーダーシップでの傾向

- ▶ 進むべき方向、ビジョンを明確に示す。
- ▶ 人の心に火を燃やす(やる気を起こさせる)ことができる。
- ▶ ビジョンの実現のために、人の足並みを揃えさせられる。
- ▶ 変化を積極的に創造する。
- ▶ 組織の学習を推進する。